

「人間教育研究協議会の実践研究—基本指針—」人間教育研究協議会代表 梶田叡一、2006.10.1 基本指針制定を読む

## 人間教育の基本方針とは

### 1. [総括的な目標]

- (1) ①われわれは、子ども一人ひとりが個性的で主体的な存在として成長していくのを援助していくことこそが、教育の究極的な使命であると考え。(人間教育: Education for Human Growth)。
- ②特に、子ども一人ひとりが、世の中に主体的に参画し、責任を果たし、良き市民・社会人としてやっていける力(〈我々の世界〉を生きる力)を身に付けていくと同時に、自分に与えられた生命を自覚し、生の喜びや躍動、充実感を実感し、生涯にわたって自分の生命を深く生きていける力(〈我的世界〉を生きる力)を身に付けていくことを願う。
- ③われわれは、このための望ましい教育のあり方について、理論的実践的な研究に努めると共に、その基盤となる教育制度やカリキュラム体系等について研究し、提言していく。
- (2) ①われわれは、すべての子どもに対して、責任を持って基礎的基本的な学力を実現する(学力保障)と同時に、そうした学力を形成する上での基盤となり、また獲得した学力を自他のために役立てる基盤となり、さらには生涯にわたる自己教育の土台ともなる個性的な感性・意欲・思考力・判断力・価値観・実行力等々を責任を持って身に付けさせる(成長保障)ことを目指す。
- ②われわれは、この両者を相互関連させつつ共に重視していくことこそが学校教育に課せられた基本的使命であると考え(学力保障と成長保障の両全)、この認識を前提とした理論的実践的な研究に努める。
- (3) ①われわれは、日本社会が今後進む道を考え、子どもがそうした未来社会に生きるために不可欠な教育課題について深い関心を持ち、学校教育の中で重視していかなければならないと考える。
- ②特に、知識爆発と情報化、国際化と地球共同体への動きに対応するための教育と、その基盤としてわれわれの先人の智慧を掘り起こし、深く理解し、継承発展させていく**和文化教育**(新時代の「**和魂人類才**」の教育)が重要であるという認識に立って、研究し、工夫し、提言する。
- (4) ①われわれは、現代の社会文化状況における子どもの成長発達の問題点(感性の未発達・自己統制の弱さ・意識空間の閉鎖性・実感的土台の伴わない表層のみの知識・安易な現状是認・人間的成長に対する無関心など)に大きな関心を持つ。

②これと同時に、われわれは、現代の学校教育がはらむ病理的現象(いじめ・学校嫌い・不登校・校内暴力・授業崩壊など)や心理的重圧(進学制度・定食のカリキュラム・教え込み的活動など)に大きな関心を持つ。

③こうした問題現象について、その実態や問題構造の解明に努めると共に、問題の抜本的な解決のために研究し、工夫し、提言する。

## 2. [授業づくり]

(5)①われわれは、子ども一人ひとりが自己の内面世界(実感・納得・本音の世界)に着目し、それを深め、広げていくと同時に、自己の内面世界に依拠して判断し、行動し、そこから個性的な独自の何かを生み出すようになることを願う。

②このため、一人ひとりの子どもに寄り添いつつ、

「耕」(一人ひとりの実感と本音を揺さぶると共に、新たな体験でその深化・拡大を図る)

「求」(自分自身の実感と本音を土台に考え、自分なりの納得を追求させる)

「表」(自分自身の内面世界をできるだけうまく誠実に表現するよう工夫させる)

「創」(自分自身の内面世界に基づいて独自の何かを創りだすよう工夫させる)

といった四局面のいずれをも大切にしたい授業実践を心掛ける。

(6)①われわれは、これと同時に、人類が長年月にわたって築きあげてきた高度な文化遺産のエッセンスを、一人ひとりの子どもに十分に継承させ、内面化させ、主体化させることを願う。

②このため、入念な教材研究、活動や指導法の研究に努め、

「開」(子どもの心を開くと共に課題・教材の世界を開き、学習への主体的参入を図る)

「示」(学習上のポイントとなる点を、明確化焦点化して説き示す)

「悟」(大事なポイントについては、実感に即して納得するところまで指導する)

「入」(特に大事なポイントは、生活の中で生きて働くようになるまで指導する)

といった四局面のいずれをも大切にしたい授業実践を心掛ける。

(7)①われわれは、多面的な教育活動の展開を前提としつつも、その基本として、「**確かな授業**」が大切であると考えている。

②このため、**教育指導の基本目標**（ねがいとねらい）を体系的に明確化し、それに基づいた指導計画を立て、ポイントのはっきりした授業実践を行ない、その過程でモニターやチェックをして学習状況を確認し、その結果を次の指導と学習に生かす、といった「**形成的評価の機能を組み込んだ授業**」の考え方を大事にする。

(8)①われわれは、これと同時に、「**豊かに躍動する授業**」を目指す。このため、教育指導の基本目標（ねがいとねらい）として、行動目標の形で表現される達成目標タイプの目標（知識・理解・技能など）だけでなく、シンプトム群の設定として表現される向上目標タイプの目標（関心・意欲・思考力・判断力・表現力など）、「これだけは少なくとも必ず」といった体験の生起を狙う体験目標タイプの目標（**驚き・味わい・気付き・発見**など）を重視する。

②また、授業のその場においては、目標も指導計画も乗り越えて、教師の個性に応じ、臨機応変に生き生きと展開する「**柔軟で個性的な授業展開**」を大事にする。

### 3. [学校づくり]

(9)①われわれは、「**一人ひとりの子どもが、自分の持ち味を十分に生かしつつ、人間的に成長していく場**」としての学校を創っていくことを目指す。

②このため、授業のあり方だけでなく、学校行事を初めとする特別活動のあり方、保護者や地域の方々との連携協力のあり方、さらには学校経営や学級経営のあり方、などについて大きな関心を持つ。

③また、学校全体としての教育的雰囲気づくりや校舎・教室・運動場などのあり方に関する創意工夫を含め、「**潜在的カリキュラム**」について、大きな関心を払う。

(10)①われわれは、「**和**」を大切にし、**みずみずしく躍動する学校**を創っていくことを目指す。このため、教職員一人ひとりが、それぞれの持ち場で創意工夫・研究開発に努め、積極的に実践・実行し、その結果として生じてきたところを冷静に把握・吟味して改善の方途を探る、といった姿勢を持つことを重視する。

②さらに、こうした経験を相互に交流させつつ互いに切磋琢磨し、**豊かな教育空間の創出**に向かって**全員参加の協力体制**を創りあげていく、といった方向を目指して努力する。

#### [コメント]

尊敬する梶田先生が代表を務める人間教育研究協議会の基本方針は、教育の基本的な価値とは何かを学ぶのに参考になる。ゆっくりと学ばせていただきたい。

— 2014年1月20日 林 明夫記 —

